

ニュースから考える

CNN (2019/04/30) はインド軍の公式ツイッターでヒマラヤ山脈にすむと言われる伝説の雪男「イエティ」の足跡を発見したと公表と報じました。



記事によると「インド軍の山岳遠征隊が伝説の怪物イエティと思われる足跡を見つけた」との説明と、足跡



の写真3枚および遠征隊の一行と思われる写真1枚を掲載、足跡は長さ81センチ、幅38センチの大きさで「この雪男は、過去にマカルーバルン国立公園でしか目撃されていない」としています。

真実はさておいて、IT 技術の発達で多くの謎や不思議な現象が解明されるようになりました。ネッシ

ーやピンぼけ UFO 写真を信じ、火星人が本当にいるのかも？とワクワクしていた少年時代が懐かしく感じます。

一方、日本 FP 協会が発表(2019/04/19)した「小学生が将来なりたい職業」ランキングの男児部門の6位(前年6位)に「ユーチューバー」がランクインしました。日本国内トップクラスのユーチューバー HIKAKIN さんの年収は1億円を超えているとも推測されています。お金の儲け方が大きく変わりました。私たちが「ばからしい～」と思ってもそれを良しとする人がいるとビジネスとして成立します。

大きく変わってゆく時代の流れに取り残されないようお互い頑張りましょう…。

1分でわかる業務カイゼン

G20 サミット閉幕

日本が議長国だった事もあり、6月28、29日のG20サミットはメンバー国や招待国の首脳など37の国や機関が参加、ニュースで連日報道されました。



冷戦(1945年～89年)と聞いて思い浮かぶのは、米ソですが一転、G20の主演は新冷戦の当事者である米中です。この二大国の喧嘩はとりあえず話合いで一時的に休戦となり議長国であったわが国もひと安心です。

このように、芸能人のみならず、国家間、企業であっても主演が常に変わります。今、貴社の売上が好調(主演)かも知れませんが、油断大敵です。時代は常に変化していますので一歩先を考えなければいつピンチがやって来るかわかりません。

調査：時代の変化を探る

時代を先取りするために、情報に敏感な文系男子である大学生にヒントを求めてみました。

就職人気ランキングを過去40年調べてみました。1位の企業は1980年(東京海上)、1990年(現NTT)、2000年(ソニー)、2010年(JTB)と名だたる企業ばかりですが、これらの企業にも今ではライバルの出現で苦戦してそうだなと勝手に思っています。

ワクワクしながら2020年を調べて見ると、1位伊藤忠、2位三菱商事、3位にJTB、6位に東京海上、37位にソニー、39位にNTTとせっかく40年調べた割には面白味のないものとなってしまいました。劇的な変化を期待していたのでガッカリな結果です。ちなみに、新顔系では楽天(16)、ニトリ(22)、アマゾン(78)、ソフトバンク(98)でした。

そう考えると、今はユーチューバーに憧れている男児も将来は老舗企業への就職を目指す学生になっているのかも知れません。企業変革の起爆剤である新入社員が実は大きな変化を求めていません。なぜなら、将来への存続が危ぶまれる銀行が4位(三菱)、11位(みずほ)、18位(三井住友)と人気を集

めているのですから若者の未来にたいする展望に疑問符がつくのは私だけではないでしょう。

普通のひと

ここで私個人の大胆な分析を皆さんに紹介します。

さきほど紹介したように、大手企業に就職を目指すいわゆる「エリートなひと」は環境の変化を求めているようです。もしかすると変わる事が良い事ではないと感じているのかもしれませんが。

経営者でなくても公務員や銀行員などのお堅い仕事をしている人の杓子定規で融通の利かない対応にイライラした事があるはず。今回の調査でその謎が解けました。彼らは変わる事が悪なのです。

一方、私たち中小企業が採用できる「普通のひと」にはエリートと考えが異なります。なぜなら「遊んでばかりいないで将来のために勉強しなさい」という大

人の常識に反抗し、既存の固定概念に挑戦してきた歴史があります。「自分の意思」でわが道を行ってきた…それが私たち「普通のひと」なのです。

学生時代だと「記憶力が良い」、「計算が早い」などのいわゆる勉強の能力が評価されます。これがいわゆる「エリートなひと」のもつ能力です。しかし、たとえば口下手であっても、要領が悪くとも…一生懸命にお客様のためにつくそうと思える…それが中小企業にとって必要な能力なのです。

清潔な服装と身だしなみ、笑顔で明るく大きな声で挨拶できる人、それこそが中小企業が求める人材です。「普通のひと」をそのような人材に成長させる…これが経営者の人を育てる能力です。

いつの時代であっても親切、やさしさ、笑顔などをお客様は求めています。画期的なビジネスで凄い会社と呼ばれるのも良いのですが…社員の魅力が評価される会社を私たちは目指したいですね…。

事務所からのお知らせ

会社の健康診断として経営分析を行っていますので担当者にお尋ね下さい。また、お知合いの経営者でお悩みの方がおられましたらお気軽にご相談ください。

今月の経営のヒント : 褒める・・・



今月のことば

天才とは 努力する凡才のことである。

(アインシュタイン)

編集後記:

最近の若者は、一生懸命だとか…人のためだとか…という考えや行動が苦手なようです。昔は小学校の道徳の授業や「まんが日本昔ばなし」などのアニメで善悪や人のために尽くすという習慣などを学ぶ機会がありました。しかし、その風潮を変えるために道徳を授業に加えると国会で話すだけで批判されるというおかしな時代です。

また、幼児虐待(育児放棄)が続き…どの子だったな…とわからなくなるほど毎日ニュースで流されます。教育委員会、家庭での責任のなすりつけあい…いったい誰が子供たちを一人前の大人に育てるのかと心配になってしまいます…。

当事務所のお客様の最近の黒字決算割合 (TKCが証明するデータを使用しています)

最近1年間 : 72.2%

(国税局の発表によると法人の黒字割合は33.2% (28年4月~29年3月) です)